



青南だより

令和6年11月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

ようやく暑さが収まり、体を動かすのに心地よい気温となりました。年少児はダンス、年中児はタグ取り鬼遊び、年長児はリレーごっこなどで、伸び伸びと体を動かしています。今月の運動会では、子どもたちが楽しんで体を動かしながら様々な動きに挑戦している姿をご覧いただき、園生活を通して子どもたちの心と体が成長したことを実感していただければ幸いです。

『幼児期運動指針』文部科学省（平成24年3月）には、「幼児期は、生涯にわたる運動全般の基本的な動きを身に付けやすく、体を動かす遊びを通して、動きが多様に獲得され、動きを繰り返し、動き方が上手になる。意欲をもって積極的に周囲の環境に関わることで、社会性や認知的な発達が促され、心と体が相互に関連し合いながら総合的に発達していく時期である」と書かれています。体を動かす遊びを楽しむことは、心身の健康はもとより、社会性の育ちや知的な発達など、内面の育ちにも大きく影響します。



幼児期において獲得したい基本的な動きとは、以下の通りです。

「体のバランスをとる動き」…立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がるなど

「体を移動する動き」………歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべるなど

「用具などを操作する動き」…持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど

本園では環境や遊びを工夫し、幼児が意欲的に楽しんで体を動かす中で、身体諸機能を十分に働かせ、基本的な動きを獲得できるようにしています。幼児は自分の力で行動する充実感を味わい、できるようになったことで有能感をもちます。元気に運動遊びをするお子さんは、非認知能力はもちろん、認知能力（学力）も高くなります。

健康な心と体は生きる源です。本園で育った子どもたちが、生涯にわたって心身ともに健康でたくましく、幸福感をもって生きていく人に成長していくことを願います。

青南幼稚園は、3年間の発達を見通した質の高い教育活動を推進しています。

港区学校教育推進計画で目指す子どもの姿「夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造するこども」の目標を達成するため「徳」「知」「体」の三つの側面から一人一人の自己発揮を促し、個性を伸ばしていきます。健康な心と体や思いやりの心をもち、豊かな学びを積み重ねられる教育課程を編成し、教育目標の達成を図ります。

（港区立青南幼稚園 経営方針 2 中期的目標と方策より）